


分野	14	地域子育て支援
施策	141	子どもの居場所・交流の充実
5年後の目標	地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	放課後児童クラブ育成事業		会計	款	項	目	772,266,628	文化・スポーツ 振興室
			一般	10	4	4		
事業の概要								
放課後の児童を対象に小学校敷地内で家庭に代わる生活の場を確保し、児童の健全な育成を図るとともに、開所時間の延長などのサービス内容の充実を図り、保護者の仕事と子育ての両立を支援します。放課後児童クラブへの入会数は増加傾向にあるため、児童一人あたりの専用区画を確保できるよう計画的な施設整備を進めるとともにすくすく教室推進事業との連携を図ります。								


平成29年度の取組							
D (取組)	指標	児童一人あたりの専用区画1.65㎡を充たす放課後児童クラブ数				単位	クラブ
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	0(平成26年度)	目標	0	2	2	3	3
		実績	0	4			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡第五小・長岡第六小・長岡第十小放課後児童クラブの施設整備に取り組み、新施設への移転を完了しました。また、施設整備に合わせて保育環境の改善に必要な備品等を購入しました。</li> <li>・長岡第五小の民間委託に向けて、委託業者の決定を行い、平成30年4月からの委託開始に向けた委託業者と放課後児童クラブ指導員の引き継ぎ等に取り組みました。</li> <li>・平成30年度に予定している長岡第三小放課後児童クラブの建て替えに向け、関係各課や工事業者との協議を行いました。</li> </ul>						長岡第十小学校新施設 	

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡第五小・長岡第六小・長岡第十小放課後児童クラブの施設が完成し、基準を満たした新たな施設での保育を開始しました。</li> <li>・長岡第五小学校の民間委託については、平成30年4月の委託開始に向けた放課後児童クラブ指導員と委託業者の間での引き継ぎを行いました。</li> </ul>	—
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童や保護者が安心して保育サービスを受けられるよう、児童の特徴等の保育に必要な情報について、引き継ぎ方法の検討が必要です。</li> </ul>			—

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡第三小学校放課後児童クラブの新施設建設について、平成30年12月末に移転が完了するよう、学校及び工事担当課、建設業者と連携して工事を進めます。</li> <li>・平成31年4月から長岡第九小の民間委託が開始となるよう、委託業者の選定や保護者会への説明に取り組みます。また、引き継ぎにあたっては、引き継ぎ期間を半年ほどとることで、丁寧な引き継ぎを行います。</li> <li>・施設整備が完了した長岡第五小学校放課後児童クラブについては、平成30年4月から民間委託を開始します。</li> </ul>

分野	14	地域子育て支援
施策	141	子どもの居場所・交流の充実
<b>5年後の目標</b>	地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>すくすく教室推進事業</b>		会計	款	項	目	16,605,599	文化・スポーツ 振興室
			一般	10	4	6		
事業の概要								
学校や地域、家庭が一体となって、子どもの安全・安心な居場所を確保し、特別教室や体育館等の学校施設において、地域の活力を利用して、放課後や週末などの子どもの活動拠点を創出し、学習やスポーツ、文化活動などの取り組みを推進します。また、放課後児童クラブ育成事業との連携を図ります。								


平成29年度の取組							
D (取組)	指標	すくすく教室参加児童数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	39,452 (平成26年度)	目標	39,700	40,100	40,400	40,700	41,000
		実績	34,445	33,515			
	指標	すくすく教室指導員等人数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
6,776 (平成26年度)	目標	6,780	6,785	6,790	6,795	6,800	
	実績	6,270	5,760				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校区ごとにコーディネーターを中心とした運営組織を作り、事業を運営しました。</li> <li>・ 「京のまなび教室」特別講師の活用や「環境の都づくり会議」の協力を得るなど、外部講師を活用して講座の充実を図るとともに、地域の人材を活用しながら事業を実施しました。</li> </ul>					すくすく教室実施の様子		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成29年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	
	評価指標	放課後子ども教室に参加する児童数と活動に協力する大人の数	児童及び指導員の参加者が減少しています。	195
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コーディネーターの退任に伴い運営が一時休止した校区があり、指標の数値が伸びない要因がありました。</li> <li>・ 門松づくり等、地域からの申し出によりすくすく教室のプログラムが増えるなど、地域力が活かされています。また、地域の方々に学習指導員や安全サポーターとして活躍いただくとともに、子どもたちとの交流の一助になっています。</li> </ul>	
課題等	・ 地域住民による運営を継続するため、コーディネーターをはじめとする人材確保が必要です。			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動) 1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の人材の力を活用した運営が継続できるよう、校区運営委員会の活動を支援します。</li> <li>・ 放課後児童クラブの運営を民間委託している長五・長七・長十小でのすくすく教室との一体的な取組を推進できるよう、受託法人と校区運営委員会の連携を支援します。</li> <li>・ 放課後子ども総合プラン(放課後児童クラブとすくすく教室の一体型)を推し進めるため、放課後児童クラブからの参加者数がさらに増えることを目指します。</li> </ul>

分野	14	地域子育て支援
施策	141	子どもの居場所・交流の充実
<b>5年後の目標</b>	地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	地域で支える中学校教育支援事業		会計	款	項	目	4,898,849	生涯学習課
			一般	10	4	1		
事業の概要								
子どもが自主性や社会性、協調性などを培うため、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進します。各中学校に地域コーディネーターを配置し、地域住民がボランティアとして、中学校が必要とする支援活動(学習支援、部活動支援、環境整備、登校指導など)を行うとともに、研修交流などを通して地域ボランティアの資質向上等に努めます。								


平成29年度の実績							
D (取組)	指標	地域で支える中学校教育支援事業年間活動延べ日数(4校合計)				単位	日
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	650(平成26年度)	目標	680	710	740	770	800
		実績	1,358	1,679			
<ul style="list-style-type: none"> <li>各中学校に地域コーディネーターを設置し、地域住民等が学習支援ボランティアとして活動しました。</li> <li>ボランティアの募集を生涯学習課で年間を通じて実施し、ボランティアの確保に努めました。</li> <li>長岡中学校では、英語・数学検定受験のためのチャレンジ教室、部活動支援、図書ボランティア活動を行いました。</li> <li>長岡第二中学校では、夏休み補充学習、別室登校生徒への学習支援、授業補助、部活動支援、環境整備などを行いました。</li> <li>長岡第三中学校では、補充学習支援、美術実技補充、授業補助を行いました。</li> <li>長岡第四中学校では、7校時学習会、テスト前補充学習会、授業補助、部活動支援を行いました。</li> </ul>					テスト前補充授業 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	各中学校内での活動が定着してきているため、中学校、地域コーディネーター、地域ボランティアとの連携が円滑に進んでいます。		194
	課題等	ボランティアが教えたいと希望している教科に偏りがあり、一部の教科でやや人材不足となっています。			
関連する評価指標		京都府学力診断テストで正答率が50%未満の割合			
		正答率50%未満の割合は、長岡京市の平均が京都府の平均を下回っています			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当	各校が必要とする人材を速やかに紹介できるよう、引き続きボランティア希望者を生涯学習課でも募集します。

分野	14	地域子育て支援
施策	141	子どもの居場所・交流の充実
<b>5年後の目標</b>	地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	児童館子どもの居場所づくり事業		会計	款	項	目	4,428,313	北開田児童館
			一般	3	2	5		
事業の概要								
<p>児童館が来館する子どもや保護者にとって快適な居場所となるよう、トイレの洋式化をはじめ遊戯室、図書室の改装、授乳室の設置、キッズルームの充実など、子どもの居場所となる児童館施設の充実を図ります。</p> <p>また、家庭での教育力、子育て力の向上を図るため、これまで配置していた児童教育相談員に加え新たに子育て相談員を配置することで、子どもや保護者に向けた教育相談や学習相談、子育て相談など子育てに関する支援を充実させます。</p>								

平成29年度の取組							
D (取組)	指標	児童館の来館者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	10,987 (平成26年度)	目標	12,000	12,000	13,000	13,000	13,000
		実績	16,778	18,017			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びによって社会性、協調性を養い、子ども同士がお互いに理解し合っ、様々な遊びに自発的に取り組めるよう、安心して遊びに来られる居場所を提供しました。</li> <li>・児童館のクラブ活動として習字、和太鼓、ヒップホップダンスを年間を通して実施し、文化祭などで発表しました。</li> <li>・乳幼児親子の交流の場として乳幼児ルームを常時開設するとともに子育てサロンを24回開催しました。</li> <li>・学習意欲の向上や習慣づけを行うため、児童教育相談員を配置し教育相談や学習機会を提供しました。</li> <li>・図書室を日常的に開放し、図書の紹介やおはなし会などの読書活動を進めました。</li> </ul>						子育てサロン
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成29年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—	—
C (評価)	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総来館者数は1,239人増の18,017人となり、4年連続で過去最高値を更新しました。</li> <li>・クラブ活動では99人の児童らが年間を通じて練習や発表に取り組み、達成感や自己肯定感を育てることができました。</li> <li>・乳幼児親子の来館者数は昨年度より1,032人増の5,296人となって、市内各地からの利用につなげることができました。</li> <li>・中学生194人、小学生1,740人が学習室で宿題や自主学習に取り組みました。</li> <li>・図書室の利用が定着し、図書の貸出件数は年間1,284件となりました。</li> </ul>	
	課題等		・乳幼児の親子連れの来館は増加していますが、まだまだ全市的な児童館の認知度は低く、今後も乳幼児の居場所としての広報活動と取組の充実が必要です。	

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	・乳幼児親子の来館をさらに促進するため、子育てサロンを質・量ともに充実させます。